

ウォーキングクラブ 6月定例会・猫ヶ洞池・平和公園から本山駅

実施日：2023.06.15



平和公園一万歩コース案内図を前にして、太陽が出ていないので方位と現在位置の確認が難しい。



猫ヶ洞池には大勢の太公望、何が釣れるのかな？



本山で暗渠排水から山崎川吐出口

梅雨真盛りの6月の定例会は、1週間程前の天気予報では晴れマークでしたが、前日には曇りマークになり、当日は午後からは雨マークです。気分は鬱陶しくやや気力が萎えるのも年のせいかな？自由ヶ丘駅改札口に女性6名・男性4名の10名が集合しました。今朝の天気予報の雨雲レーダーを観て参加を躊躇された方が多いのでしょうか。

気を取り直して自由ヶ丘バス停ロータリーの案内地図の前で今日のウォーキングコースの説明です。一万歩コースを辿る予定でしたが、地道では水溜りや、泥濘で足元が悪い所もあります。スリッパ転倒をしない様にアス道に変更し、参加者のご意見を聞き、歩行距離を幾分短縮する事になりました。

自由ヶ丘駅を後にして、お洒落な団地商店街を通り抜けて、がんセンターの交差点を右折して鹿の子公園に至ります。緩い起伏のある明るい芝生広場の先には、幾分湿気のある空気を通して孟宗竹

林が影を落として寂寞(せきぱく)の世界です。あまり光が届かない薄暗い森の中の丸太階段を下り、猫ヶ洞池に流れ込む小さな川の本道を渡り猫ヶ洞池の湖畔のベンチで小休止です。

猫ヶ洞池の脇の説明板には「江戸時代初めに二代藩主徳川光友の命により上下二段の灌漑用溜池が作られ、農業用水は御器所台地まで引かれていた」との事です。

池の周囲は青葉若葉の深い森に囲まれた幽玄の世界ですが、残念ながら正面には巨大なマンションが聳え立ち、情緒が幾分そがれるのも都会の都市公園の宿命か？雲が低く垂れこめた猫ヶ洞池の水面は明るいモノトーンの拡がりでした。

ここでベルマウスを皆さんに見て頂きました。洪水吐のダム穴には梅雨の豊富な水量がオーバーフローしてダム穴に吸い込まれる様は不気味な感覚を覚えます。因みにベルマウスに飲み込まれた水は通常は山崎川に放流されるが、異常高水量に

達した場合は暗渠排水で矢田川に放流されます。

一万歩コースを辿りながらコアラの食糧生産のユーカリの森や、ユーカリの温室を眺めながら献体の塔に向かいます。石段をゆっくり上れば石造の球状の献体の塔は大きな地球儀を思わせるモニュメントでした。献体の塔の前で、有志の献体談義を小耳に聞き挟みました。「献血にも年齢制限があるので当然献体もあるヨ」「インターンもメスで解剖するのに余り高齢者の献体は干からびていて切れ味が大変だヨ」「献体が若い娘さんなら解剖学研究的に興味を湧くヨ」「それセクハラヨ！」公益財団法人日本篤志献体協会のHPで確認したところ、献血とは違い年齢制限は無く後期高齢者でも受け入れて頂けるとの事です。

「良かったネ、高齢の皆さま！是非ご協力を！」

濡れた苔のアス道を注意しながら下り、緑道の一萬歩コースに合流してトイレに寄り道、アクアタワーを右手に見上げれば、モダンなデザインで両側面が緩やかに円弧を描いている異色の展望台を持つ高架水槽です。塔の高さは40m程で、標高差は120m程です。無料の展望台ですが、土日祝のみで平日は残念ながら休館です。

一万歩コースは一旦市道の歩道と共用し、ブロンコビリーの交差点から山道を辿ります。我々はパスして平和堂に直行するつもりでしたが、皆さ

んの意見に従い虹の塔と宗春の墓地に寄りました。また、天気が優れない事もあり予定のコースを短縮して、桜の園を通過して、平和公園南バス停から11:29の自由が丘行きで帰りたいとのご意見が多数あり、ここで自由解散になりました。

ところで何故か、男性2名のみが本山駅まで脚を伸ばす事にしました。本山駅近くには山崎川の流入口、言わば猫ヶ洞池からの吐出口が露出している事を確認しました。

昼近くになり、本山交差点近くの「ザ・どん 本山店」でかつ丼定食¥814.-はボリューム感満点で、美味しく頂きました。

お腹が膨れ、気分も幾らか高揚感も高まり、気力が漲りました。双方の意見が合い、家まで山崎川を辿りながら石川橋を経て帰宅ウォーキングをする事にしました。

山崎川の上流の側道は瑞穂区内に比べ植樹が貧弱で見劣りします。途中で雨も降り出しましたが、脚の確かな両名は無事白雲橋に至り、これから先は朝の散歩コース、ここで別れる事になりました。ところで、本願寺町の自宅に14:15ゴールイン。小生のスマホ歩行記録では総歩数20,900歩・歩行時間3:20・歩行距離14.6kmでした。

Nさんも多分、心地良いウォーキングの疲れで晩酌のビールがいつもより旨い事でしょう。



猫ヶ洞池の湖畔の煉瓦敷き広場で小休止



虹の塔を後にして、徳川宗春墓碑に向かう



都会の喧騒を忘れ、ただボンヤリと湖畔と対話



梅雨の降雨で満水状態のベルマウスは見頃時